

あらかわ 区議会だより

No. 265

令和3年4月18日
(2021年)



荒川区議会ホームページ

令和2年度定例会 2月会議・3月緊急会議号



令和3年2月20日オープン 尾久図書館

～荒川区は「読書を愛するまち・あらかわ」宣言をしています～

おもな内容

2ページ 議会活動

会議の概要

3ページ 区政のここをきく

10ページ 委員会活動の報告

13ページ 区長の施政方針説明

会派構成等の変更

14ページ 予算審査の概要

15ページ 主な総括質疑

表紙写真募集

16ページ 予算に対する討論

19ページ 議案の審議結果

20ページ 採択した請願・陳情



議会活動

令和2年12月12日～令和3年3月31日

12月15日

○健康・危機管理対策調査特別委員会

12月21日

○観光・文化推進調査特別委員会

1月7日

○総務企画委員会

1月8日

○文教・子育て支援委員会

○建設環境委員会

1月19日

○健康・危機管理対策調査特別委員会

1月20日

○財政援助団体調査特別委員会

1月29日

○議会運営委員会

2月1日

○震災・災害対策調査特別委員会

2月2日

○総務企画委員会

○福祉・区民生活委員会

2月3日

○文教・子育て支援委員会

○建設環境委員会

2月12日

○議会運営委員会

2月15日

○本会議

2月17日

○本会議

2月19日

○総務企画委員会

○福祉・区民生活委員会

2月22日

○文教・子育て支援委員会

○建設環境委員会

2月24・25日

3月1日

○予算に関する特別委員会

3月2日

○本会議

○予算に関する特別委員会

3月3日

○文教・子育て支援委員会

○福祉・区民生活委員会

3月4・5・8・9日

○予算に関する特別委員会

3月11日

○議会運営委員会

3月12日

○本会議

3月17日

○財政援助団体調査特別委員会

3月23日

○総務企画委員会

3月24日

○議会運営委員会

3月26日

○文教・子育て支援委員会
(区内視察)

3月30日

○議会運営委員会

○本会議

○福祉・区民生活委員会(※)

(※)については、本会議休憩中に開会

2月15日～3月12日に、令和2年度の2月会議が開かれました。
3月30日に、令和2年度の3月緊急会議が開かれました。



2月会議・3月緊急会議の概要

～令和3年度一般会計予算ほか3特別会計予算を可決～

2月会議

令和3年2月15日から3月12日までの26日間の日程で、2月会議が開かれました。

本会議では、12名の議員から区政全般にわたり一般質問が行われました。

(要旨は3～10ページに掲載しています)

2月会議では、議案28件が提出されました。
(議案の審議結果は19ページに掲載しています)
このうち令和3年度予算4件は、予算に関する特別委員会を設置して審査を行いました。

(予算審査に関する詳しい内容は14ページに掲載しています)

3月緊急会議

3月30日に3月緊急会議が開かれました。

この緊急会議では、議員から提出された議案1件と区長から提出された議案1件がいずれも原案どおり可決されました。



◀ 2月会議での区長挨拶の様子

区政のここをきく

2月15日、17日の本会議にて、一般質問が行われました

一般質問要旨



今後の行財政運営と区民サービスの向上及び防災・まちづくりについて

並木 一元(自民党)



今後の行財政運営と区民サービスの向上について

問 コロナ禍による経済の停滞などにより、財政調整交付金や区税収入等による歳入の大幅な減少が見込まれ、区財政を取り巻く環境が厳しさを増す状況の中、どのような考え、姿勢をもって令和3年度の予算編成に臨んだのか、区長の見解を問う。

答 「区民の命と健康を守り、安全・安心な暮らしを支える予算」との位置付けのもと、必要な事業には重点的かつ効果的に予算を配分するなど、区が取り組むべき施策を最大限予算化した。

問 国が「自治体デジタル・トランスフォーメーション推進計画」を策定し、全国的なシステムの統一化等を進め、行政のデジタル化の必要性が高まる中、区も、全庁を挙げて更なるデジタル化の推進を図るべきと考えるが、見解を問う。

答 新しい生活様式に対応するため、電子申請やキャッシュレス決済サービスの拡充等の検討を進めている。AIやRPA等の新たなICTツールを用いた業務改善にも取り組み拡大していく予定である。

問 現在のコロナ禍での対応、更に震災・水害等が想定される中、職員が困難な課題に対応するため、一人ひとりの更なる対応能力の向上と、働きやすい職場づくりに向けた環境整備が必要と考えるが、そうした人材育成について、区の見解を問う。

答 コロナ禍への対応を区の事業や職員の働き方を見直す契機と捉え、職員の能力をさらに高め、業務の効率化等に取り組むとともに、多様な人材が個々の能力を発揮できる環境を整備していく。

防災・まちづくりについて

問 大規模水害時に備え、「在宅避難」「親戚・知人宅への避難」「広域避難」等の避難方法につい

て区民に啓発すべきである。また、近隣区の首都高速道路の緊急避難場所としての活用を含めた広域避難の検討状況や、東北本線荒川橋梁の堤防工事の進捗状況等について、区の見解を問う。

答 複数の場所への分散避難について、引き続き様々な媒体や場を活用した啓発を強化していく。また、広域避難や首都高速道路の活用についても、都や近隣区と連携しながら、検討・協議を進めていく。堤防工事については、地盤改良及び盛土の工事を令和3年7月末までに行い、堤防の高さを確保した後、修景工事に取り掛かる予定である。

問 南千住浄水場跡地に整備予定の公園と町屋公園は、それぞれ特徴を持たせるべき。また2つの公園を隅田川のテラスでつなぎ、両園の魅力を高め、地域に付加価値をもたらすべき。



◀ 今後、整備を予定している尾竹橋公園

答 2つの公園が魅力ある特徴的な公園となるよう、地域の皆様の意見を聞きながら検討していく。また、連続性のあるテラスの整備は、街の活性化に資するため、実現に向け努力する。

問 南千住LaLaテラスの定期借地契約が残り2年となる。地域になくってはならない存在として、当分の間、現在の営業形態を継続しつつも、将来的には南千住駅前の更なる発展や賑わいの創出を目指すべきと考えるが、見解を問う。

答 当該施設については、契約満了後も10年程度は現在の利用を継続し、その後、次代にふさわしい計画を検討すべきと考えている。

その他の質問項目

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 教育について



新型コロナウイルス感染症対策とSDGsの目標であるジェンダー平等の達成について

菊地 秀信(公明党)



新型コロナウイルス感染症対策について

問 区の高齢者の何%がワクチン接種すると見込み、どこでどのように実施するのか、その場所や手法がなぜ最適と考えるのか、区の見解を問う。

答 複数の大型施設等において常設の接種会場を設けることを基本とし、全ての高齢者に対応できるよう接種体制の準備を進めている。

問 高齢者や基礎疾患を持つ人の抗体保有率を高めるため、ワクチン接種をより促進する具体的な対策を講じるべきと考えるが、区の見解を問う。

答 各地区にバランス良く接種会場を設置、移動が困難な方の対応についても検討中である。様々な媒体を活用して周知し、接種の促進を行っていく。

問 持続可能な財政運営を行うためには、都や国の財源を活用することが必要不可欠と考えるが、見解を問う。

答 計画的で持続可能な財政運営の推進に向け、国や都の補助制度等の動向について情報収集に努めるなど、更なる財源確保に努めていく。

SDGsの目標であるジェンダー平等の達成について

問 アクト21(区立男女平等推進センター)が発行する情報誌において、性的指向や性自認について特集を組むなど積極的に情報発信を行い、理解の促進を図るべきと考えるが、区の見解を問う。

答 情報誌やホームページ等での基礎知識や専門相談窓口の周知、意識啓発を目的としたイベントの実施など、様々な工夫をして取り組んでいく。



アクト21
男女平等推進センター
情報誌(イメーション)

問 教員は、先入観なく進路指導を行い、多様な

生き方があることを学べるよう配慮し、区職員は様々な困難を抱える区民に配慮して対応できるよう啓発をしていくべきと考えるが、見解を問う。

答 様々な場面で区民と接する区職員や教職員が正しい知識を持ち、理解を深めるため、研修に加え、ガイドラインの作成を進め、周知していく。

その他の質問項目

○学校の福祉的な役割について



区民のところに寄り添った区政及び新型コロナ対策と今後の体制強化について

相馬ゆうこ(共産党)



区民のところに寄り添った区政のために

問 来年度予算について、区民のくらしの現状に寄り添った予算編成を行うことを求める。

答 経済状況が厳しさを増すことが想定される中、区民の皆様のお声をしっかりと受け止め、その生活をしっかりと支えるため全力で取り組んでいく。

問 医療費窓口負担や介護保険料の引き上げなど、国が進める国民への負担増にきっぱりと反対の意を表明するべきと考えるが、区の見解を問う。

答 これまでも、社会保障制度の持続可能性の確保に向けた様々な要望を行ってきたが、今後も給付と負担のあり方に関する必要な要望を行っていく。

新型コロナ対策と今後の体制強化について

問 人との触れ合いが避けられない施設が公費で自主検査を行える仕組み作りをするとともに、その補償を国に求めるべきと考えるが、見解を問う。

答 希望する施設におけるPCR検査体制の構築については様々な見解があり、現時点では実施予定はない。引き続き、国や都の動向を注視していく。

問 感染防止とコミュニケーションの両立のため、保育園、障がい者施設など希望する施設へ透明マスクの公費支給を提案するが、区の見解を問う。

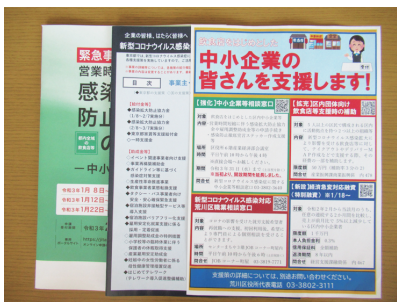
答 感染防止の効果や使いやすさなど、保育現場や聴覚障がい当事者の意見を踏まえながら、導入等の可否も含めて、慎重に検討していく。

問 コロナ禍で、保健所・保健師の重要性が改めて明らかとなった。体制強化のためにも、保健所の定員増と保健センターの設置を求める。

答 全庁的な応援体制や取り組みにより、体制強化に努めている。また、相談支援を一元的に行う現在の体制の方が利点や重要性が大きいと考える。

問 中小事業者の休業等に対する補償を国・都へ強く求めつつ、区のコロナ対策融資の金利を0%に引き下げ、かつ独自支援の検討を求める。

答 区は返済期間全期間に利子補給を行い、国や都の制度と区別している。国や都へ支援の充実を働きかけながら、支援策を引き続き検討していく。



区・都・国における
中小企業支援の数々

その他の質問項目

- 少人数学級について
- 区内のごみのポイ捨て対策について、区民の声を真摯に受け止め迅速に対応すること



コロナ禍におけるDV被害者支援策の更なる充実について

竹内 明浩
(立憲・ゆい・無所属の会)



コロナ禍におけるDV被害者支援策の更なる充実について

問 経済面での困窮度の高い母子世帯に対し、地域や社会全体で支援する必要がある。児童扶養手当等の経済的自立支援策についても、確実に情報提供を行うべきであり、申請の際も各々の状況に配慮し、より丁寧な聞き取りをし、確実に支給されるよう申請の促進を求めるが、区の見解を問う。

答 来年度については、コロナ禍の収入減に伴い、手当てが支給されるケースの増加が見込まれるた

め、より丁寧な周知を図り、手当の支給対象となる方が新たな申請に繋がるように、各家庭の状況に合わせた支援制度の周知に努める。

問 DV被害者は命を守るため、住民票を移さず避難している場合が多く、投票所整理券が届かないため投票への意欲は低い。もっと選挙や政治に興味を持ってもらうためにも、安全に投票できるようどのような方策がとれるのか、見解を問う。

答 住民票を移さずに区外に避難している場合は、避難先の選挙管理委員会で不在者投票が利用できる。DV被害者の大切な一票を無駄にしないためにも、区報やホームページ等による不在者投票の制度紹介に加え、関係する相談窓口等を通じ、状況に応じた投票の仕組みを周知していく。



投票所の様子
(イメージ)

その他の質問項目

- コロナ禍における今後の財政運営について



子どもたちの身体づくりと子ども議会について

山田 晴美
(維新・あたらしい党) ※2月15日現在
※4月1日付、維新・子育ての会に変更



子どもたちの身体づくりについて

問 子どもたちの身体づくりについて、これからは「教え方」についても改革が必要と考える。指導する側、保護者、組織する行政側の意識改革を行い、チームワークを駆使して子どもたちの未来を考えていくべきと考えるが、区の見解を問う。

答 小・中学校では、都の体力調査に取り組み、体力向上を図る活動の充実に取り組んでいる。幼稚園や保育園では、全身を使った遊びを楽しみながら、積極的・主体的に遊べる園児の育成を図って

いる。様々な知見を取り入れながら、体力づくりや運動機能の向上に、全力で取り組んでいく。

子ども議会について

問 平成7～14年に実施された子ども議会を復活してはどうか。保護者も興味を持つのではないか。「子どもの権利条約」といった観点からも、子どもの意見表明や社会参加はとても意味があると考えるが、区の見解を問う。

答 議会や行政への理解を深め、子どもたちの意見を区政に反映させる目的で実施したが、一部の子どもしか参加できない等の課題もあり、議場見学を教育活動の一環に取り入れることとなった。今後も、子どもたちが区政に関心を持ち、身近に感じてもらえるよう、必要な施策を行っていく。



議場見学の様子

その他の質問項目

○コロナ禍における区の職員への対応について



武漢コロナウイルス関連対策と新しい社会の在り方及び適切な行政運営について

小坂 英二
(日本創新党)



武漢コロナウイルス関連対策と新しい社会の在り方について

問 自粛要請など精神バランスを崩しやすい状況において、民間の心理カウンセリングによって「生きづらさ」を軽減するためにも、金銭補助を通じた利用促進をすべきと考えるが、区の見解を問う。

答 保健所の相談窓口としてこちらの相談事業があり、専門医が無料で相談を受け、必要に応じ紹介状を発行し受診に繋げている。こうした仕組みを活用し、こちらの健康の課題に取り組んでいく。

問 西日暮里駅前地区、三河島駅北地区の再開発の在り方を再度検討すべき。「今、暮らしている人達が安心して暮らしやすさを実感できる場所」という概念で進めるべきと考えるが、見解を問う。

答 西日暮里駅前には都市基盤施設の整備、三河島駅前地区には防災性の向上といった課題があり、その実現には、市街地再開発事業が最も有効な手段であるため、早期の事業化に取り組んでいく。



三河島駅北地区(真土小)の思い出広場周辺の様子

問 地域の過密を防ぐため、住宅新築時の最低基準面積を拡大し、人口過密状態の是正をすべきである。明確な意思をもって暮らしやすい地域づくりに向けた基準見直しを求めるが、見解を問う。

答 区では条例等により、共同住宅の床面積や戸建住宅の敷地面積の最低限度を定めてきた。今後、用途地域による敷地面積の最低限度を定める規則の導入に向け、協議を進めていく。

適切な行政運営に向けて

問 朝鮮学校の幼稚班に「アンケート」を名目とした約9万円給付を国が呼びかけた際、荒川区が加担したのは誤りだったと認め、今後加担しない決意を固めるべきと考えるが、区の見解を問う。

答 今回の国の調査は、幼児教育・保育の無償化の対象外施設への支援の在り方を検討するためのものであり、国の要項に基づいて実施している。今後も、委託契約に基づき調査を進めていく。

問 朝鮮学校の幼稚班に、来年度から毎月2万円の補助を開始する政府を挙げた反社会的行為に、区は加担すべきではない。従来からの外国人保護者補助金についても全廃を求めるが、見解を問う。

答 国は新たに、幼児教育・保育の無償化の対象外施設の利用者に利用料相当の給付を行うため、区内に対象施設があることから、この事業を活用する。外国人学校保護者補助廃止は考えていない。

問 児童相談所における対応状況について問う。ま

た、児童虐待の根本的な解決のためにも、被害児童・加害親双方に対し継続したカウンセリングの必須化、仕組みの構築を求めるが、見解を問う。

答 子ども家庭総合センターの相談件数は7～12月で1,068件、うち約半数が虐待事例である。保護者と児童双方の心のケアを充実させ、虐待を繰り返さない環境づくりに取り組んでいく。



武漢コロナ対策について

藤澤 志光
(自由民主の会)



武漢コロナ対策について

問 荒川区での陽性者と感染症状のあった人の人数はどうなっているのか。

答 区内の新型コロナウイルス陽性者数は2月10日現在1,675人、また感染症状のあった方の人数は、1月13日現在1,005人である。

問 アルコール除菌スプレー等を区民に配布するなど新たな対策を取るべきと考えるが見解を問う。

答 「手洗い」「換気」ほか、感染症対策を総合的に行うことにより家庭内等の感染防止を強化できると考え、一律配布の必要はないと認識している。

問 マスコミはワクチンの副反応の危険を強調するが、安心して接種できるよう対策すべきである。

答 正しい情報発信を行い、十分に理解・納得して接種できるよう不安の軽減に努める。関係機関の協力を仰ぎ、安全な接種環境の提供に努めていく。



新型コロナウイルス
接種特設サイト
(区ホームページ)

問 コロナ禍後の社会・経済・財政システムは激変せざるを得ないと考えるが、区の見解を問う。

答 コロナ禍後の新たな社会の動きにも的確に対

応できるように、今後の社会情勢等をしっかりと注視していく。

問 区民会館に代わる文化施設建築計画を簡単に変更せず、新たな予算で次善の策を練るべき。

答 現在の計画でも、当初の目的を担うことができると考えており、今後の文化交流施設の具体化においては、様々な視点からの検討を行っていく。



新型コロナ陽性者に対する入院待機者への支援と外国籍の児童・生徒における学習支援について

河内 ひとみ
(あらかわ元気クラブ)



新型コロナ陽性者に対する入院待機者支援について

問 自宅療養中の高齢者には、高齢者福祉課と連携した生活支援や、訪問診療・訪問看護等の見守り体制の整備が必要と考えるが、区の見解を問う。

答 感染拡大防止には、健康観察専任チームを編成する保健所の体制強化がより効果的との考えから、自宅療養者等への対応の充実に努めている。

外国籍の児童・生徒における学習支援について

問 外国籍の児童が多い学校には日本語学級の創設が必要と考えるが、区の見解を問う。

答 様々な課題を考慮し、今のところ、学校において日本語通級指導学級を設置する考えはない。

問 ハートフル日本語適応指導及び補充学習指導終了後も児童生徒の習熟度に応じた指導時間延長等が必要と考えるが、区の見解を問う。

答 これまでも拡充を図った経緯もあり、子どもたちの理解度に応じた柔軟な対応を行っている。

問 多文化共生センター東京の移転先が決まらないが、これまでの経緯と移転先確保について問う。



多文化共生センター東京
での授業の様子

答 これまでは遊休化した区施設を無償貸与してきた。今後は区施設の確保が困難なため、移転先の協議を重ねるなど法人の活動を継続して支援する。

問 学習支援を行うボランティア団体へ、教員免許を持つ人材を派遣できるような支援は可能か。

答 学習指導や進路指導する人材を地域で継続的に確保するのは容易でなく、課題と認識している。



地域のつながりによる支援と区民に対する効果的な広報について

土橋 圭子(自民党)



地域のつながりによる支援について

問 コロナ禍のもと、高齢者は外出自粛を余儀なくされ、活動する機会が減ることにより、フレイル状態に陥ることが危惧される。何らかの形で外部とつながりを持ち、健康の維持を図る取り組みができないか、区の見解を問う。

また、地域包括支援センターでは、介護予防も行っている。高齢者の生きがいという観点からも、身近な地域包括支援センターにおいて就労支援を積極的に行うことはできないか、区の見解を問う。

答 高齢者のフレイル等の健康二次被害が発生する懸念が高まっており、今後はオンラインの認知症予防教室も実施予定である。今年度、国は高齢者の社会参加を促進する観点から、生活支援体制整備事業の中に就労的活動の普及促進の役割を創設した。区でも、第8期荒川区高齢者プランにおいて、地域包括支援センターの生活支援コーディネーターとの取り組みが効果的と考え、人員体制を含めたセンターの機能強化について検討する。

問 区では、生涯学習センターやコミュニティカレッジ等にて、様々な学びの環境を作り、生涯学習の促進に努めている。更により多くの選択肢を増やすため、学校との連携や区内の専門家の参画を促すことも有益と考える。町会やコミュニティの在り方を考えると、若い人たちが参加しやすい交流の場を作り、地域や人とつながる機会を増や

すことが、これからの荒川区を担う人材を作るためにも大切だと考えるが、区の見解を問う。

答 区では、区民が気軽に参加できる講座を開催しているほか、都立大学と連携して多岐にわたる分野の講座を開催している。また、生涯学習に関する知識等を持った区民を施設等に派遣する取り組みも行っている。今後は、時代のニーズに合った魅力的な講座を取り入れるほか、オンラインの活用等、若い方々も参加しやすい場を積極的に設け、多くの区民が地域や人とつながる機会の充実に努める。



◀ たくさんさんの講座を取り揃えるコミュニティカレッジ

区民に対する効果的な広報について

問 区政運営におけるデジタル化の推進について準備を整えていく必要がある。実現したサービスの情報が区民に届いていない面もあり、区政情報の発信も、高齢者のスマホ保有率の高まりから、LINEなどを積極的に活用し、分野を絞り込んだセグメント配信の機能を使い、より効果的に周知を図る工夫すべきである。区民が必要な時に必要な情報を得られるよう、多様な媒体で、より戦略的に情報発信をすべきと考えるが、区の見解を問う。

答 区の広報は、様々な施策の周知とともに、区政への理解と協力を得るための重要な役割を担っている。あらゆる広報媒体を活用して区政情報を発信してきたが、情報入手手段も複雑化しているなか、これまで接点を持てなかった方にも情報を届けるため、LINEを導入し、分野別の配信やAIを活用した自動応答等を通じて、区政情報の発信を強化するなど、様々な広報媒体の特性を踏まえ、区民の皆様幅広く区政情報を発信していく。

その他の質問項目

- コロナ禍における子どもたちの支援について
- 区内企業の支援について
- 次代に向けた環境配慮について



個人の尊厳・ジェンダー平等の実現と感染リスク軽減対策・産業対策としてのCO₂測定機器設置について
 斉藤 邦子(共産党)



個人の尊厳とジェンダー平等の実現に向けて

問 LGBTの当事者団体の皆さんと懇談の場を持ち、その声の具現化を求めるが、区の見解を問う。

答 当事者団体との懇談を含め、様々な意見を伺いながら、区民に寄り添い、必要な支援を検討する。

問 選択的夫婦別姓の法改正を国に求めること。民法改正が行われない不利益について、認識を問う。

答 引き続き広く国民の間で議論されるべき課題であり、今後も国の動向を注視していく。

問 アクト21の本来目的に沿った運営強化と周知、今日的課題への取り組みの強化を求める。

答 区民の理解促進を図るため、関係部署と緊密に連携し、啓発事業や情報発信等を行っていく。

コロナ感染リスク軽減対策・産業対策としてのCO₂測定機器設置について

問 東京都の補助も活用して区内飲食店等への設置支援を求めるが、区の見解を問う。

答 都と連携し、商店街を対象とした補助制度の準備を進めており、今年度中にもれなく周知を図る。

問 学校、福祉・介護施設、保育園、病院等には早急に設置することを求めるが、区の見解を問う。

答 各施設を巡回し、すべての建物で応用可能な点で優れる換気方法を指導している。測定機の設置について施設規模や特性に応じ検討が必要である。



区内飲食店に設置したCO₂濃度測定機器

その他の質問項目

○幼児教育の発達障害等の支援の体制強化について



これからの成人式と保育園等での登園について

宮本 舜馬

(維新・あたらしい党) ※2月17日現在

※4月1日付、次世代あらかわに名称変更



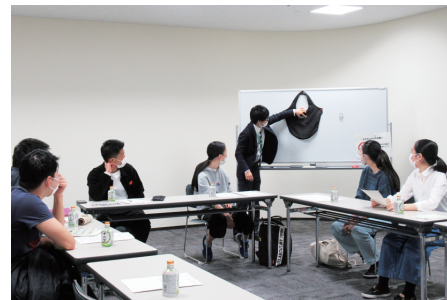
これからの成人式について

問 オンライン開催となった2021年成人式の代替措置を、コロナ終息後に講じられないか。

答 現在、新成人代表の実行委員と協議を行っており、より地域に目を向けてもらうきっかけになるようなイベントの開催を検討している。

問 来年度以降の成人式の対応について、早い時期から検討する必要があると考えるが、見解を問う。

答 今後の感染の拡大状況等を踏まえ、関係各所から意見を伺いながら、開催方法等について慎重に検討し、適時適切な対応に努めていく。



成人の日のつどい実行委員会の活動の様子

保育園等での登園について

問 今後の登園自粛について、明確な基準を予め設定し、周知すべきと考えるが、区の見解を問う。

答 保護者の勤務形態は多様であり、明確な基準を定めるのは困難だが、区の方針を発出する際には、迅速かつ丁寧な対応に努めていく。

問 育児休暇からの職場復帰時期の延長を行っていたが、来年度以降はどのような対応を行うのか。

答 年度途中で入園を申し込む方が入園できないなど、公平性の観点から来年度以降は、通常に取り扱いに戻す。なお、コロナ禍による勤務実績の減少等個別事由がある場合は、保育の継続を行う。

その他の質問項目

○地域活動について

○ガバメントクラウドファンディングについて



生活保護行政と西日暮里駅前地区再開発について

横山 幸次(共産党)



生活保護行政について

問 これまでの国民の権利としての生活保護制度への差別偏見を助長するバッシングと、コロナ禍での厚生労働省の生活保護制度についての広報について、どういった認識なのか、区の見解を問う。

答 保護の必要な方が申請をためらわないよう、国が正しい理解を促す広報を行うことは、有意義であると認識しており、区でも引き続き、正しく理解していただけるよう働きかけを行なっていく。

問 国に対して、扶養照会をやめるよう強く求めるとともに、区として、現状でも扶養照会の必要のないケースをきちんとしおりやホームページに記載すべきと考えるが、区の見解を問う。

答 扶養能力調査は、親族から経済的な支援は求められなくとも連絡先や状況が把握でき、緊急時には必要であるため、全廃を求めることは考えていない。国の動向を注視し適切な対応を図っていく。

西日暮里駅前地区再開発について

問 道灌山中学校跡地の活用法や、老朽化した特養ホームの建て替えが困難となる懸念もある中、区民合意、公開性を無視した西日暮里駅前地区再開発の3月都市計画決定は中止することを求める。

答 都市計画決定前の段階での公開は、今後の事業運営に支障を生じさせる恐れのある情報も多い。区民を混乱させないためにも、今後、事業の進捗に合わせ、より詳細な情報を提示していく。



◀道灌山中学校跡地

委員会活動の報告

議会運営委員会

志村 博司 委員長

1月29日

◆2月会議について

- ①提出予定案件について
- ②一般質問等の締切日について
- ③提出議案説明のための委員会開会について
- ④2月会議の会議期間に係る日程について
- ⑤予算に関する特別委員会の設置について 等

2月12日

◆2月会議について

- ①追加議案の提出について
- ②議員提出議案の提出について
- ③議事日程について
- ④一般質問について
- ⑤2月15日・17日の本会議の議事の取り扱い及び順序について 等

3月11日

◆2月会議の最終日について

- ①議事日程について
- ③2月会議の終了について 等

◆今後の議会日程について

3月24日

◆3月緊急会議について

- ①3月緊急会議の開会について
- ②荒川区議会規則の一部改正について 等

◆議長から諮問された「政務活動費の取り扱い基準(手引き)の改定」について

3月30日

◆3月緊急会議について

- 議事日程について 等



◀2月会議の様子

常任委員会

総務企画委員会

小林 行男 委員長

1月7日

◆所管事務事業説明

- ①区政情報の発信状況について
- ②私債権にかかる債権管理の取り組み状況について

2月2日

◆2月会議提出予定案件について

- ①令和3年度荒川区一般会計予算について
- ②令和2年度荒川区一般会計補正予算(第5回)について
- ③荒川遊園(仮称)キャンディハウス外5棟建築及び改修工事に係る請負契約の変更について

◆所管事務事業説明

- 荒川区実施計画(令和3年度～令和5年度版)の改定について 等

2月19日

◆付託された議案について

- ①議員提出議案第5号
荒川区中小企業事業継続支援補助金交付条例
- ②議案第51号
令和2年度荒川区一般会計補正予算(第5回) 等

◆所管事務事業説明

- ホテルラングウッドに係る運営事業者等の変更について ほか

3月23日

◆講演会の実施について

- 講演内容
「LGBTQは『いない』のではなく『見えていない』だけ～渋谷区の取り組みから～」



◀LGBTQに関する講演会の様子

文教・子育て支援委員会

中島 義夫 委員長

1月8日

◆所管事務事業説明

- 西日暮里駅前地区再開発における文化交流施設に関する考え方について

2月3日

◆2月会議提出予定案件について

- 令和3年度荒川区一般会計予算について【文教・子育て支援委員会関係】 等

◆所管事務事業説明

- 「荒川区学校教育ビジョン 学びの推進プラン第2期(案)」策定について

2月22日

◆付託された議案について

- ①議員提出議案第6号
荒川区就学援助の実施に関する条例
- ②議案第44号
荒川区学童クラブの運営に関する条例の一部を改正する条例

◆所管事務事業説明

- 荒川区子ども読書活動推進計画(第四次)の素案について 等

3月3日

◆付託された議案について

- 議案第61号
荒川区児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例

3月26日

◆区内視察について

- 荒川遊園大型遊戯施設見学



◀あらかじめ遊園にて説明を聞く様子

福祉・区民生活委員会

菊地 秀信 委員長

2月2日

◆2月会議提出予定案件について

- ①荒川区指定居宅介護支援等の事業の人員、運営等の基準に関する条例の一部改正について
- ②令和2年度荒川区一般会計補正予算(第5回)について【福祉・区民生活委員会関係】
- ③令和3年度荒川区一般会計予算について【福祉・区民生活委員会関係】 等

◆所管事務事業説明

- 第6期荒川区障がい福祉計画・第2期荒川区障がい児福祉計画(案)の策定について 等

2月19日

◆付託された議案について

- ①議案第50号
荒川区ふれあい館条例の一部を改正する条例
- ②議案第45号
荒川区介護保険条例の一部を改正する条例 等

◆委員会付託事項

- 新たに付託された陳情について

3月3日

◆付託された議案について

- 議案第64号
荒川区国民健康保険条例の一部を改正する条例 等

3月30日

◆付託された議案について

- 議案第65号
荒川区特別区税条例の一部を改正する条例 等



◀東尾久本町通りふれあい館の建設工事の様子

建設環境委員会

町田 高 委員長

1月8日

◆所管事務事業説明

- 西日暮里駅前地区再開発事業の計画案の変更について

◆委員会付託事項

- 新たに付託された陳情について

2月3日

◆陳情審査

- 西日暮里駅前市街地再開発に関する陳情(計57件)について

◆2月会議提出予定案件について

- ①令和3年度荒川区一般会計予算について【建設環境委員会関係】
- ②令和2年度荒川区一般会計補正予算(第5回)について【建設環境委員会関係】

2月22日

◆所管事務事業説明

- ①荒川区地球温暖化対策実行計画素案に関するパブリック・コメントの実施結果について
- ②尾久東部地区地区計画の原案について
- ③荒川区耐震改修促進計画の改定案について

◆陳情審査

- 令和2年度第26号陳情
「西日暮里駅前地区市街地再開発計画」の決定延期を願う陳情書について



◀休憩を挟み8時間を超えた陳情審査の様子

特別委員会

震災・災害対策調査特別委員会

横山 幸次 委員長

2月1日

◆調査研究事項

- 荒川区地域防災計画実施推進計画（第2次）（案）の策定について

健康・危機管理対策調査特別委員会

斎藤 泰紀 委員長

12月15日

◆調査研究事項

- 新型コロナウイルス感染症の状況及び今後の取り組みについて

1月19日

◆調査研究事項

- 新型コロナウイルス感染症の状況及び区の対応について

観光・文化推進調査特別委員会

菅谷 元昭 委員長

12月21日

◆調査研究事項

- 俳句文化振興事業の推進について

財政援助団体調査特別委員会

森本 達夫 委員長

1月20日

◆調査研究事項

- 荒川区シルバー人材センターについて

3月17日

◆調査研究事項

- 荒川区社会福祉協議会について

令和3年

区長の施政方針説明

(一部抜粋・要旨)

新型コロナウイルスとの闘いが始まり早1年が経過しましたが、いまだ予断を許さない状況が続いております。長い歴史の中で多くの感染症と向き合い、克服してきた私たちは、今回の危機においても英知を集結し、必ず乗り越えられるものと確信しております。区民の皆様のかけがえのない日常を一刻も早く取り戻すためにも、区民生活に最も身近な行政を担う区として、国や都とも十分に連携を図り、必要な対策を実行してまいります。

本年は、東日本大震災の発生から10年目を迎えます。東日本大震災以降も、全国各地において、地震や台風、豪雨、感染症等、様々な災禍に見舞われており、その中で得た経験や教訓を風化させることなく、自助・共助・公助の観点による取り組みの更なる強化・充実を図る等、区民の皆様が安心して暮らせる取り組みを強力に推進してまいります。

令和3年度予算は、このような思いで施策を具体化したものです。区民の皆様のご暮らしの安全・安心を確保する取り組みを土台に据え、次代を担う子どもたちを育成し、街ににぎわいをもたらす取り組み等、誰もが明日への希望を抱き、輝かしい未来に向けて歩みを進めることが出来る地域づくりを全力で推進してまいります。

そして、このコロナ禍における変革の機運を的確に捉え、未来をしっかりと見据えて、不断の見直しを行い、区民の皆様が真に求める行政サービスをより確実に、より効果的にお届けできるよう、精一杯取り組んでまいります。区議会並びに区民の皆様におかれましては、一層のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

会派構成等の変更

令和3年4月1日付で、右記のとおり、会派構成と会派名称の変更がありました。

<会派名称、構成員の変更>

「次世代あらかわ」 夏目亜季議員
宮本舜馬議員

<会派の結成>

「維新・子育ての会」 山田晴美議員

予算に関する特別委員会で 令和3年度予算を可決

令和3年度一般会計予算ほか3特別会計予算は、全議員で構成される「予算に関する特別委員会」（委員長＝茂木弘、副委員長＝小島和男）を設置し、2月24日から3月9日まで審査を行い、いずれも可決されました。



▲予算に関する特別委員会の様子

委員会での審査経過

2月24日

◆一般会計予算

○総括質疑（8会派）

※主な質問項目は別掲

○歳出審査（議会費・総務費）

2月25日

○歳出審査（総務費・民生費）

3月1日

○歳出審査（民生費）

3月2日

○歳出審査（民生費・衛生費）

3月4日

○歳出審査（衛生費・環境清掃費）

3月5日

○歳出審査（環境清掃費・産業経済費・土木費）

3月8日

○歳出審査（土木費）

3月9日

○歳出審査（土木費・教育費・公債費・諸支出金・予備費）

○歳入審査（一括審査）

○採決

・組み替え動議（共産党提出）

採決の結果 否決

・修正案（委員4名より提出）

採決の結果 否決

・原案

採決の結果 可決

◆国民健康保険事業特別会計予算

◆後期高齢者医療特別会計予算

◆介護保険事業特別会計予算

○審査

○採決 採決の結果 可決



◀予算に関する特別委員会の様子

令和3年度 予算の概要

年度区分 会計区分		令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増減額	増減率
一般会計		1,060億1,000万円	1,069億7,000万円	△9億6,000万円	△0.9%
特別 会計	国民健康保険 事業	223億9,000万円	237億6,500万円	△13億7,500万円	△5.8%
	後期高齢者 医療	49億8,100万円	50億8,900万円	△1億800万円	△2.1%
	介護保 険事業	180億 400万円	184億9,400万円	△4億9,000万円	△2.6%

主な総括質疑

自民党
志村 博司 委員



- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 下水道事業の進捗について

自民党
中島 義夫 委員



- 災害対策について

共産党
小林 行男 委員



- 新型コロナ対策について
- 防災対策について

公明党
松田 智子 委員



- 新型コロナウイルスのワクチン接種について
- 西日暮里駅前再開発地域の街づくりについて

立憲・ゆい・無所属の会
久家 繁 委員



- 新型コロナウイルスワクチンの接種について
- 男女共同参画における区の今後の方向性について

維新・あたらしい党
山田 晴美 委員



※2月15日現在

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- SNSを活用した情報発信について
- 高齢者のネットリテラシーの向上について

日本創新党
小坂 英二 委員



- 区の男女共同参画の取り組みについて

自由民主の会
藤澤 志光 委員



- 新型コロナウイルス感染症対策について

あらかわ元気クラブ
河内 ひとみ 委員



- 男女共同参画の苦情処理機関の設置と新たな条例制定について

あらかわ区議会だよりの表紙写真を募集します！

【テーマ】荒川区内で撮影した **荒川区** または **季節感** をイメージする **未発表の横向き写真**

【資格】区内在住、在勤または在学の方

【募集】随時、受け付けます。 ※ **デジタルデータ**を送ってください

開会会議号(6月中旬発行)	令和3年 6月1日まで	新年号(1月1日発行)	令和3年12月1日まで
6月会議号(8月上旬発行)	令和3年 7月1日まで	11月会議号(1月下旬発行)	令和3年12月1日まで
9月会議号(11月中旬発行)	令和3年10月1日まで	2月会議号(4月中旬発行)	令和4年 3月1日まで

【方法】応募者の氏名・住所（区外在住で区内に在勤または在学の方は、勤務先名か学校名も記載）・電話番号・撮影年月日・撮影場所・写真のタイトルを記入し、写真のJPEGデータを添付の上、

Eメール (kugikai@city.arakawa.tokyo.jp) で送ってください。

【掲載】決定しましたら、ご本人に連絡させていただきます。

【その他】人物や個人の所有物を撮影した場合は、被写体または所有者の承諾を得てください。採用された写真は必要に応じてトリミング等、編集を行うことがあります。採用された写真の使用権は荒川区議会に帰属します。

令和3年度予算をこう評価する

3月12日の本会議において、令和3年度一般会計予算について各会派から討論が行われました。その要旨をお知らせします。

区民が真に求めるサービスを適時適切に届けることができるよう一層努力することを要望し、賛成
自 民 党



自由民主党荒川区議会議員団は、本予算の編成にあたり、区民が真に必要とするサービスを着実に実施し、区民の不安を解消し、安心・安全に暮らすことができる街づくりを目指し、12の重点項目をはじめ、300を超える事項について、積極的に推進していくよう要望した。

区はこの要望を踏まえ、内部努力の更なる徹底や事務事業全般にわたる再点検・見直しを図る一方、直面する重要課題や区民生活に的確に対応した施策に財源を重点的かつ効果的に配分しており、改めて区の努力を高く評価する。

我が党が要望した主な施策について述べると、災害対策では本庁舎及び北庁舎屋上に非常用発電機整備の完了、子育て支援では令和5年度の開設に向けた児童養護施設の整備、産業振興では区内事業者支援の継続実施等を高く評価する。

これらの他にも、我が党は予算に関する特別委員会における質疑を通じて、具体的に確認を行った。主なものを挙げると、図書館員による推薦本の紹介・読書の街宣言の条例化や家読(うちどく)のすすめ、虐待対応ダイヤル189の普及啓発、あらかわ遊園における夜間イルミネーションの通年実施、新病院における病床の確保と開設までのロードマップ、脱炭素社会の実現に向けた環境対策、都電荒川線における車両の段差解消や乗務員のサービス教育等について東京都への要望、西日暮里駅前地区再開発に対する区の決意・魅力や集客力のある商業施設の誘致、教育理念を重視したデジタル教科書の補助的活用等である。

ここで3点、強く要望する。新型コロナウイルスワクチン接種を安心して受けられる環境づくりと、きめ細やかな情報発信。東京女子医科大学東

医療センターの移転にあたり、医療体制の空白を短くし地域の賑わい創出に努めること。新型コロナ感染拡大防止と経済の両立に向けて事業の見直しと創意工夫を行うこと。

最後に、新年度の予算執行にあたり、区民の皆様が真に求めるサービスを適時適切に届けることができるよう一層努力することを要望し、また、自由民主党荒川区議会議員団も、執行機関との良き緊張関係を保ちつつ、今後とも西川区政を支えていくことを表明して予算案に賛成の討論とする。



都電荒川線熊野前駅のホームの様子

区民生活の向上に一層努力することを要望し、賛成

公 明 党



令和3年度予算は、西川区長第5期目に就任され最初の予算である。新型コロナウイルス感染症対策経費へ重点的に予算配分し、福祉施策の充実や子育て環境の整備、防災対策の強化、区内経済や文化活動の活性化に取り組むことで、すべての区民が幸福を実感できるよう思いが込められたものと受け止めている。

私たち公明党荒川区議会議員団は、「現場第一主義」の考えに則り、本予算の編成に先立つ昨年9月、144項目に及ぶ令和3年度予算に関する要望書を西川区長へ提出した。区は、この要望を受け止め、「区民の命と健康を守り、安心・安全な暮らしを支える予算」として本予算を編成した

ものと高く評価している。

具体的には、新型コロナウイルス感染症対策としてのエッセンシャルワーカーへの支援強化、地域防災力を強化させる避難所の開設・運営訓練などが予算化されており、限りある財源を重点的・効果的に配分したものとなっている。

また、予算に関する特別委員会においても、読書のバリアフリーの推進、子どもの権利条約の制定と普及啓発、ワクチン接種の着実な推進と感染拡大防止の強化、廃食油のリサイクルや環境学習の観点からの取り組み、樹名板の設置や公園トイレの改修の促進等について提案した。これらを今後の予算執行等に反映し、国や都の補助金を積極的に活用しつつ、区民生活の向上に一層努力することを要望して本予算案に賛成の討論とする。



PCR検査の様子

どもや女性、貧困・孤立に苦しむ区民への支援が不足している。

今回、共産党荒川区議団は、予算組み替え動議を初めて提出した。予算の1%10億円規模の組み替えで、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の強化、市街地再開発事業の削減等を提案した。

また、予算に関する特別委員会においても、人権問題・ジェンダー平等を重点課題とし、高齢者支援としての補聴器購入助成、子どもの権利条例の実現、生活困窮者への支援の充実、東日本大震災から10年経過という節目において、不燃化特区事業等の防災対策の推進などを求めた。課題が山積する中、実態を把握し、国や都への要望を行うこと。そして区民に寄り添う予算とすることを求め、反対の討論とする。



荒川区の不燃化特区地域

コロナ禍での暮らし応援が不十分、大規模開発は見直し、区民に寄り添う予算を求め、反対

共産党

反対

本予算案は、コロナ感染拡大の危機を乗り越え、区民を守るには不十分な予算であり、反対する。

反対する理由の第1は、新型コロナウイルス感染症対策が不十分であること。ワクチン接種と並行してのPCR検査の継続・拡充や、医療従事者への支援が足りない。第2に、財政危機の中での大規模開発事業の推進は容認できない。区民合意が得られないまま見直しせず進めることには賛成できない。第3に、中小企業・小規模事業者への支援が不十分であること。ものづくりのまち荒川を支える中小事業者を大切にする視点が欲しい。第4に、生活困窮者への支援が足りないこと。子

非常時だからこそ、より効率的で柔軟な事業展開を願い、賛成

立憲・ゆい・無所属の会

賛成

コロナ禍における予算に関する特別委員会では、①区民の命と健康、生活を支える予算となっているか、②将来を見据えた財政運営となっているか、③長期的な視野で見て必要な施策は展開されているか、という視点で審議にあたった。

質疑においては、新型コロナウイルス感染の後遺症の方への対応と社会的理解、ひとり親家庭や生活困窮者支援の充実、山吹の花を絡めた太田道灌魅力発信事業の推進等について取り上げた。

新年度には、新型コロナウイルスワクチン接種という大きな取り組みが始まるなか、変異ウイルスの感染拡大、第三波の収束も課題である。

「明けない夜はない、止まない雨はない」、そう信じて、国民一人一人が、医師が、そして何よりも政治がそれぞれの役割を果たしていくことが肝心であると考えます。

「荒川区に住んでいて良かった」と誰もが実感できるように、予算執行にあたっては、こういう非常時だからこそ、より効率的で柔軟な事業展開とすることを願い、賛成の討論とする。



◀ 新型コロナウイルスワクチン
集団接種訓練の様子

持続可能な自治体を目指し、
様々な工夫を凝らした予算を高く評価し、賛成

維新・あたらしい党



令和2年度、維新・あたらしい党より複数回にわたり緊急要望を行い、HPVの普及啓発、成人式の代替イベント、幼児期の体力向上に向けた教育等を提案してきた。

また、予算に関する特別委員会においても、議会及び区のSNSにおける情報発信、特殊詐欺・防犯等への取り組み、高齢者の安全な居場所づくり、飼い主のいない猫の保護シェルター設置への助成、路上喫煙の取り締まり、子どもたちにとってのボール遊びや体験活動の必要性等、多岐にわたる質疑や提案を行った。中でも、HPVの普及啓発については、あらかわ遊園の観覧車のライトアップ等、区の尽力の成果が表れ、ワクチン接種率が日本の平均を上回って年々上昇し、より多くの未来の子ども・母親の命が救われた。

今後も、幸福実践都市荒川区として、誰もが安心・安全に住めるまちづくりを期待する。

持続可能な自治体を目指し、新型コロナウイルスが蔓延する中であって、様々な工夫を凝らした

今予算を高く評価し、賛成の討論とする。



◀ 子ども達の遊びを通じた
体力づくりの様子

コロナ対策の強化と生活困窮者
への保険料等負担軽減を求め、
反対

あらかわ元気クラブ



新型コロナウイルス感染者数が下げ止まる中、感染防止対策として、エッセンシャルワーカーへの定期的なPCR検査、そして医療・介護従事者への再度の支援金給付も必要と考える。医療や介護従事者の離職がこれ以上進まない対策を求める。

また、失業などによる生活困窮者の増加の中、区民の生活と命を最優先せず、さらなる困窮に追い込むような負担を伴う予算に反対する。

最後に、三河島北地区・西日暮里駅前再開発について、駅前に高層マンションありきではなく、防災対策等を重視した開発はないのか。地域住民への説明も足りず、納得のいく予算計画もない。コロナ禍で人口動態も変わり、税収も減少が見込まれる今、再開発計画は変更し、健全な区政運営を求め、反対討論とする。



◀ 三河島駅の北側より

議案の審議結果

令和2年度定例会・2月会議
令和2年度定例会・3月緊急会議

○賛成 ×反対 太字は討議のあったことを示す

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は会派人数)							結果		
	自 民 党	公 明 党	共 産 党	立 憲 ・ ゆい ・無 所 属	維 新 ・ あ た ら し い 党	日 本 創 新 党	自 由 民 主 の 会		あ ら か わ 元 気 フ ラ グ	
(2月会議) 議員提出議案 (3件)										
第5号	荒川区中小企業事業継続支援補助金交付条例	×	×	○	×	×	○	×	×	否決
第6号	荒川区就学援助の実施に関する条例	×	×	○	※	×	×	×	○	否決
第7号	荒川区議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	×	×	○	○	○	○	○	○	否決
(2月会議) 区長提出議案 (25件)										
第44号	荒川区学童クラブの運営に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第45号	荒川区介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	×	可決
第46号	荒川区指定地域密着型サービスの事業の人員、設備、運営等の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第47号	荒川区指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営、指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法等の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第48号	荒川区指定介護予防支援等の事業の人員及び運営、指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法等の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第49号	荒川区指定居宅介護支援等の事業の人員、運営等の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第50号	荒川区ふれあい館条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第51号	令和2年度荒川区一般会計補正予算(第5回)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第52号	令和3年度荒川区一般会計予算	○	○	×	○	○	×	○	×	可決
第53号	令和3年度荒川区国民健康保険事業特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	×	可決
第54号	令和3年度荒川区後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	×	可決
第55号	令和3年度荒川区介護保険事業特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	×	可決
第56号	荒川遊園(仮称)キャンディハウス外5棟建築及び改修工事請負契約の一部を変更する契約	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第57号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(宇津井洋子氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	適当との意見
第58号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(神保秀久氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	適当との意見
第59号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(宮本美和子氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	適当との意見
第60号	荒川区手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第61号	荒川区児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第62号	荒川区指定障害児通所支援の事業等の人員、設備、運営等の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第63号	荒川区指定障害児入所施設の人員、設備、運営等の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第64号	荒川区国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	×	可決
同意第2号	荒川区副区長の選任同意について(佐藤安夫氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
同意第3号	荒川区教育委員会委員の任命同意について(小林敦子氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
同意第4号	荒川区教育委員会委員の任命同意について(坂田一郎氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
同意第5号	荒川区監査委員の選任同意について(小川秀行氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
(3月緊急会議) 議員提出議案 (1件)										
第8号	荒川区議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
(3月緊急会議) 区長提出議案 (1件)										
第65号	荒川区特別区税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※会派内で意見が分かれました

採択された請願・陳情

<陳情書の取り扱いの流れ>



2月会議では「西日暮里駅前地区市街地再開発事業」に関連する陳情（計58件）について委員会での審査と本会議での採決を行いました。

2月3日に行われた建設環境委員会では、委員会休憩中に陳情者から趣旨説明を受けた後、同種関連のある陳情57件を4つに分類し、それぞれ一括して質疑を行い、討論・採決については、1件ずつ行いました。

そして、2月17日の本会議で、建設環境委員長から陳情審査の経過並びに結果について報告した後、1件ずつ採決を行いました。

また、2月3日の委員会後に提出された陳情1件について、2月22日の建設環境委員会で審査を行い、3月12日の本会議で採決を行いました。

採決の結果は以下のとおりです。

陳情 (同種関連のあるものを4つに分類)		採決結果	
		委員会 2月3日	本会議 2月17日
再開発事業の推進を求める陳情	計22件	採択	採択
再開発事業区域からの除外を希望する陳情	計7件	三者三様	不採択
再開発事業の中止を求める陳情	計15件	三者三様	不採択
再開発事業の再考・見直しを求める陳情	計13件	三者三様	不採択

陳情		採決結果	
		委員会 2月22日	本会議 3月12日
再開発計画の決定延期を願う陳情	計1件	三者三様	不採択

※三者三様・・・「採択」「趣旨採択」「不採択」のいずれも過半数に達しなかったもの。

委員会や本会議の詳細な内容は「荒川区議会 会議録検索システム」でご覧いただけます。
(荒川区議会ホームページよりアクセスできます)